

なぜ「鉄道」は海を目指すのか？

せとうちパレットプロジェクトの挑戦



向かって左側が岩本駅長

世界でも有数の美しさを誇る瀬戸内の多島美。今、鉄道がない島しょ部で、鉄道会社のJR西日本が様々なプロジェクトを展開しています。代表して岩本圭司尾道駅長にお話を聞いてみました。

岩本駅長：私たちJR西日本グループでは、2018年に「地域価値の向上」をグループの中期経営計画に盛り込み、「せとうちパレットプロジェクト」をスタートさせました。多様な観光資源を有している瀬戸内エリアで、鉄道事業と魅力創造事業が連携して新たな価値を生み出すことで地域の活性化を目指すものです。瀬戸内を国内外から多くの人々が訪れる海陸の一大周遊ルートにすることができれば、地域のお役にも立てるし、我々も海への玄関口となる駅へ多くのお客様を鉄道で運ぶことができると考えました。



建造への出資、尾道のメーカーとコラボした自転車「SHIMANAMI LEMON BIKE」のレンタル開始、地元企業と協力した商品の開発・販売など、一見鉄道事業に関係ないと思われることもやっています。しかしこれらも、せとうちパレットプロジェクトには大切な事業たちなのです。



レモンバイクはその名の通りまっ黄色

今後も手を緩めることなく各分野でプロジェクトの展開は続きます。先日尾道の造船所で進水した、瀬戸内の島々を結ぶ新たな観光型クルーザー「SEA SPICA (シー スピカ)」や宮島口～尾道駅間を走る新しい観光列車「etSETOra (エトセトラ)」の運行を開始します。お客様



尾道～瀬戸田間を運航するサイクルシップ ラズリ



尾道で建造されたシー スピカ

の来訪の受け皿として、生口島での歴史的建造物を活用した宿泊施設の建設にも関わっていきます。



進水式にはSTU48の石田みなみさんと田中皓子さんも応援に駆け付けました

もうたくさんありすぎて、尾道駅長としてはうれしい悲鳴です！地元尾道の方々とどんどんウィンウィンになっていくよう（駅でうどんを食べながら）頑張っていきます。

なぜJR西日本は「鉄道のない島」への誘客を進めるのか謎が解けました。これからもせとうちパレットプロジェクトから目が離せません。



エトセトラ 完成予想図



人と動物のいのちを大切にする社会の実現を目指して ペットマナープロジェクトおのみち

「観光のまち」として有名な尾道は「猫のまち」としても全国的に有名になりつつある裏側で、動物に関するさまざまな問題が起っています。

不幸な犬猫を一匹でも減らしたい、ルールを守って楽しく動物と共生できる社会になってほしい…そんな思いで平成28年から「ペットマナープロジェクトおのみち」として活動を始め、平成30年からは市民活動支援事業に採択されています。

人も動物も安心して暮らせる 地域になるために

私たちは、飼い主のいない猫を今以上に増やさないための活動（TNR活動*1・TNTA活動*2）や、地域猫活動の推進を行っています。地域猫活動とは、野良猫問題の解決方法の一つで、地域住民が主体となって野良猫の不妊去勢手術を行い、餌のやり方やフンの始末などのルールを定めて野良猫を管理していくものです。各地域の事情に応じた地域猫活動が広がることで、人も猫も安心して暮らせるまちになればとの思いから、町内会等とも協力しています。

飼い主の意識向上の取組の一環として、飼い犬と一緒にいつもの散歩コースを清掃する「クリーンわん清掃活動」を行っています。その中で一番多いのはタバコの吸い殻ですが、気になるのは犬猫のフンが植え込みの中や路上に放置されていることです。

ペットを終生、愛情と責任を持って正しく



僕たちも一緒にお掃除だワン♪



譲渡会の様子

飼うのはもちろんのことですが、フンや尿の後始末、しつけ、不妊去勢手術や猫の完全室内飼いの徹底なども必要です。

活動の賛同者により輪の広がり

「クリーンわん清掃活動」は月に1回の地道な活動ですが、協力者が増え、それに伴って活動範囲も広がっています。また、TNR活動・TNTA活動、地域猫活動に私たちボランティアが関わることで、前向きに対処していただける人が増え、野良猫等への餌やりのみで終わっていた人の意識改革にもつながり、飼い主のいない不幸な猫はわずかながら減っていると感じます。

- ※1 TNR活動…捕獲して不妊去勢手術を行い元の場所に戻す活動（手術をした印に耳をVカットします）
- ※2 TNTA活動…捕獲して不妊去勢手術を行い、人に慣らして譲渡する活動

動物と楽しく共生できる故郷 尾道

これらの活動を続けていくことで、犬猫による迷惑行為や被害がなく、また飼い方のルールやマナーの向上により、誰もが気持ちよく過ごせるまちになればと思っています。犬猫の遺棄や虐待のない、人にも動物にもやさしい故郷尾道であってほしい、そんな思いで今後も活動を続けていきます。犬猫の被害に嘆くのではなく、楽しく共生するにはどうしたらいいか、一緒に考えてみませんか。

| 令和元年度の実績 | |
|---------------|------|
| ・TNRした猫の数 | 102頭 |
| ・譲渡数 | 62頭 |
| ・地域猫活動に関わった件数 | 5件 |

政策企画課 ☎0848-38-9435

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。日時・期間 場所 対象 内容 定員 料金 持ち物 電子メール 締切